

国府台病院 初期臨床研修医

研修医からひとこと

| | |
|-------------------------------------|--|
| <p>杉山 昂 (平成28年4月～)</p> | <p>当院のホームページにお越し頂きありがとうございます。初めまして初期研修医2年目の杉山昂と申します。研修医の立場から国府台病院の初期研修プログラムの特色と当院の魅力についてご紹介させていただきます。</p> <p>私自身大学時代より、精神科を志望しておりました。初期研修病院を探すにあたっては、精神科症例を初期研修医時代から充実して学ぶことができる場所であり、身体疾患に関してもcommon diseaseを中心として、幅広く経験出来る病院を探しており、当院にたどり着きました。</p> <p>実際、1年間の研修を経て、自分自身が思い描いていた研修を行っていると実感しております。</p> <p>精神科症例に関しては、前身が精神神経センターであったため、今でも豊富な症例に恵まれており、精神科救急から身体合併しているリエゾン症例に至るまで、様々な症例について、研修医のうちから経験することが出来ます。特に精神科救急に関しては、精神科ローテート中に限らず、当直中にも関わることがあり、臨場感あふれる現場の中でどのように患者対応するのかというのを肌で感じる事が出来ます。</p> <p>また、内科や外科その他の科についても、病床数は全体で400床程度の中規模の病院ですが、common diseaseから、専門的な疾患まで幅広く学ぶことが出来ます。特に専門的な疾患や治療については、定期的に行われるカンファレンスで研修医が発表する機会もあり、上級医の丁寧な指導のもとで、じっくりと学べると思います。</p> <p>そして何よりも当院の魅力は、その雰囲気の良さであると自信を持って言いたいと思います。診療間の垣根も低いのですが、良い意味で上級医との垣根も低く、臨床的に分からないことや、医学的な疑問についても、躊躇うことなく質問することが出来、自分の理解が叶うまでとことん学ぶこともできますし、そのような場面でのストレスが非常に少なく、仕事をする上でのやる気にも繋がると思います。</p> <p>是非一度当院の見学にお越しいただき、実際に当院の雰囲気を体感して下さい。皆様が来ることを心待ちにしております。</p> |
| <p>本田 麻衣子 (平成28年4月～)</p> | <p>研修医2年目の本田麻衣子と申します。</p> <p>国府台病院における初期臨床研修の魅力は、身体疾患も精神疾患も十分に学ぶことができる点だと思います。内科や外科などの必修科においては数多くの症例を経験できますし、上級医の先生方による丁寧なご指導のもと、積極性に応じて様々なことに挑戦させていただけます。研修医やレジデントの数も程よいため、手技も幅広く経験することができます。また、どの科においても精神疾患を合併する患者さんが多く、精神疾患に触れる機会が多いことも非常に貴重な経験になると思います。</p> <p>当院の一番の特徴は病院全体の雰囲気の良さです。どの先生方もとても親切で、研修医との距離も非常に近く、どんな些細なことでもわからないことがあれば何でも質問することができ、楽しく勉強できます。コメディカルの方々も親切な方ばかりでとても働きやすく、円滑に仕事を進めることができます。</p> <p>ぜひ見学に来て実際に当院の雰囲気を感じていただければと思います。</p> |
| <p>渡邊 亮 (平成28年4月～)</p> | <p>皆さま初めまして。国府台病院研修医2年目の渡邊亮と申します。</p> <p>私が国府台病院を初期研修先を選んだ理由としては、元々消化器科分野に興味があり、市中病院の中でも肝炎免疫センターを持ち、消化器系の研究や臨床を盛んに行っている当院に魅力を感じたことがきっかけでした。数回見学させて頂きました。が医師とコメディカルのかかわり方が大変魅力的に感じたため初期研修を希望し今に至ります。実際に働きだしてから一年程度が経過しましたが、その印象は今でも変</p> |

| | |
|---|--|
| <p style="text-align: center;">渡邊 亮 (平成 28 年 4 月～)</p> | <p>続き</p> <p>わらず大変働きやすい職場であると感じております。魅力的な関係性は医師—コメディカルの関係だけでなく、研修医—上級医間の関係性も魅力のひとつと考えます。重症患者の担当させて頂いた際、ただ経過を追い日々のカルテを書くだけでなく、上級医の先生と治療方針について伴に検討するといった機会が多かったように思えます。時には夜中まで患者と向き合い、チーム皆で頭を悩ませながら治療方針を決めたことは私にとって大変有意義な経験であり、今後の患者への向き合い方の礎となったと感じました。</p> <p>恐らく市中病院での研修を希望されている方の多くが common disease をしっかり診られるようになり、中心静脈カテーテルや腰椎穿刺といった手技を豊富に経験したいと考えてるのではないのでしょうか。もちろん担当患者によっては機会にバラつきはありますが、その両者とも当院での研修で十分満たされると考えます。内科ローテーション中は自身が救急外来当直で入院させた患者様をそのまま担当させて頂くので「発症」から「転帰」までの経過をしっかり見られるのはとても勉強になります。また、当院研修の魅力のひとつとしてセンター病院での三次救急研修(1.5ヵ月)が挙げられ、外傷や重症熱傷の対応も学ぶことが可能となります。</p> <p>大学病院に残るか市中病院で研修をするかはとても迷う時期ではあると思います。私自身もその一人でありましたが、結果として市中病院である国府台病院で研修医として働けて良かったと考えます。国府台病院には全国から研修医が集まり、自分とは違った環境で育ち、異なる思考を持つ人々が在籍しているため私にとっては大変刺激的で、新たな観点が生まれたりもしました。研修医の内に様々な刺激に触れることは今後の財産となると思います。今研修先で悩んでいましたら、是非一度見学に来て下さい。研修医—同心よりお待ちしております。</p> |
| <p style="text-align: center;">内山 由以子 (平成 27 年 4 月～ 平成 29 年 3 月)</p> | <p>みなさんはじめまして、国府台病院初期研修医 2 年目の内山由以子と申します。</p> <p>国府台病院は、元々の母体である国立精神神経センター時代からの伝統ある精神科と、肝炎免疫研究センターを有する消化器内科を筆頭として、統合内科・一般外科ほか多くの科を持つ総合病院です。</p> <p>研修医は各科チームの一員として、市中病院で見られる数多くの common disease を学び、基本的な診療技術を身につける事ができます。各科に 1～3 人程度のローテーションで、担当患者に関わる手技は優先して研修医に経験させてもらえますので、十分な数の手技をマスターできます。患者へのアセスメントも自分で考えた上で、直接上級医の先生と話し合いながらフィードバックを頂くことができ、日々学習の機会に溢れています。当院のプログラムは選択期間が比較的長く、他院と連携しながら希望する様々な科の研修が受けられるのも特徴です。どの科の先生も非常に教育熱心で、内科・外科等の必修科だけでなく、選択科の研修でも今後の診療の糧となる各科の専門知識を十分に得ることができます。</p> <p>また、私が当院の一番の魅力と考えるのは、病院自体の雰囲気の暖かさです。同期、上級医の先生方をはじめ病棟スタッフ全体の距離が近く、お互いを思いやりながら忌憚なく意見を伝え合える雰囲気が当院にはあります。研修医としては上級医の先生に質問しやすく、スタッフとも情報共有がすぐにできる環境が、大変働きやすく有り難い事と思います。</p> <p>ぜひ一度見学にいらして、当院の雰囲気を体感して頂ければと思います。みなさんにお会いできるのを楽しみにしています。</p> |
| <p style="text-align: center;">杉本 佳織 (平成 27 年 4 月～ 平成 29 年 3 月)</p> | <p>はじめまして。国府台病院精神科レジデントの杉本佳織です。国府台病院の初期研修を修了した立場から、当院の魅力をご紹介させていただこうと思います。</p> <p>私は学生時代より精神科を志望しており、研修病院選択に際しては①精神科を初期研修からしっかり学べること ②身体疾患についても一通りの知識・手技を身につけることが出来ることを条件に病院探しを行いました。</p> |

杉本 佳織

(平成27年4月～
平成29年3月)

続き

初期研修を行うなかで、①②について不足を感じたことはありません。国立精神神経センター病院を前身とする当院には現在も豊富な精神科症例が集まっており、日常診療から精神科救急まで経験することができるほか、精神疾患合併の身体疾患管理や一般科におけるリエゾン症例も専門的な視点で学ぶことができます。

身体疾患についても、各科に多くの専門医がおり、common diseaseから専門性の高い疾患まで経験することができます。救急外来当直もあり、さまざまな症候に関して自分で臨床推論を組み立てて検査・治療計画を立てるいい機会になっています。研修医一人当たりの症例数は決して多すぎず、一方で指導医数は多いため丁寧な指導を受けてじっくり勉強しながら診療にあたることができます。また、他院との提携も豊富で、救急科や各種外科に関しては東京都新宿区にある国立国際医療研究センター病院などに赴いて充実した研修を行うことができます。

上記の二点のほかに、実際に働いているなかで、当院の魅力として、病院内の雰囲気の良い、環境のよさを日々実感しています。各科の先生方、研修同期や先輩・後輩、コメディカルに至るまで風通しがよく、円滑なコミュニケーションに基づく高い質の医療が行われています。一昨年より外来棟も新しくなり、敷地内の寮も綺麗で非常に過ごしやすい環境です。

もし興味を持たれましたら、是非一度見学に来て当院の雰囲気を体験してみてください。お待ちしております。